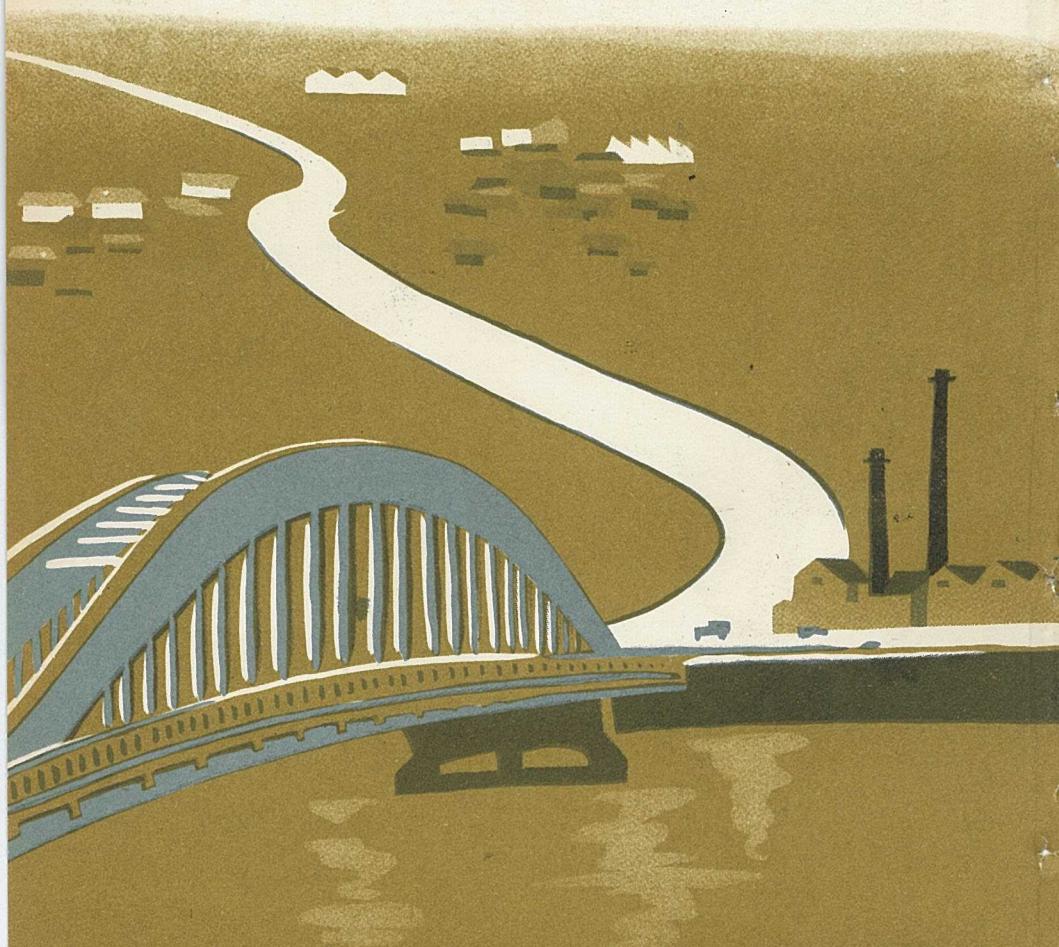


和九年十一月二十五日印刷納本
和九年十二月一日(毎月一回一日發行)

良政の路道

載 轉 禁

號二十第 卷六十第



道路改良會發行

特許ワーレナイトビチュリシック鋪裝

特許ペノリシック鋪裝

アスファルト其他各種鋪裝並一般土木



日本石油道路部ト
浅野物産道路部トヲ
継承シテ生レタル

日本鋪道株式會社

東京市麹町区丸ノ内三，四（有樂館）

電話 丸ノ内 (23) 四八六三・四九九五

混合式瀝青乳劑試驗鋪裝

(砂利、砂、瀝青乳劑混合材敷均)

特許瀝青乳劑エマルビア

製造販賣並鋪裝工事請負

東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地碌々館

電話 京橋一、三二五番

橫濱市鶴見區菅澤町一九五

電話 鶴見三、一三二番

仙臺市東七番町四十五

電話 仙臺三、二九〇番

製造工場

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座二丁目二九

電話京橋百二、一三〇至二、一四九番

道路職員講習會員實地見學昭和九年八月四日於東京市芝浦

混合用エマルビア說明書贈呈



道路の改良 第十六卷 第十二号 目次 昭和九年十二月一日

口繪 九號國道志村一里塚(東京府)

卷頭言

論說

交通企業の經營と交通統制

早稻田大學教授 島田孝一(三)

時論

天災に具ふる土木事業施設の匡正策

京都府土木部長 中川幸太郎(三)

研究

フランスの交通警察(完)

内務事務官 武若時一郎(五)

技術

道路構造令及道路構造に關する細則に就て 内務技師末松榮(四)

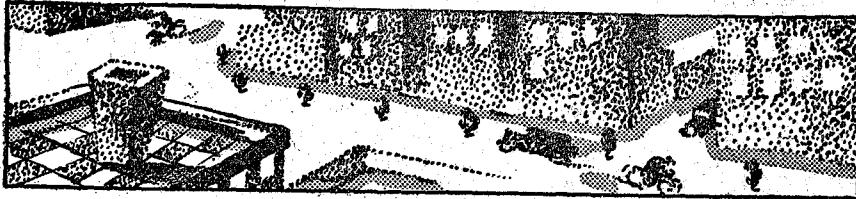
水郷大橋工事・吊下式井筒沈設に就て 千葉縣技師今泉佳三郎(三)

通信

道路改良會國際道
路會議出席囑託

宮崎正夫(三)

通



ミニコンヘン通信

海外道路時事

一九三三年に於ける支那交通機關の發達……佛國の失業救濟土木事業……佛國公共道路上の車輛交通規則……積雪と道路交通……

内務省土木試験所長 物部長穂(さ)

漫録

東海道視察旅行案内記(完)

批評と紹介

東 訪 記 大阪府土木部 渡 部 亮 (101)
地 方 通 信

假面劇

北海道地方 關東地方 北陸地方 東山地方 東海地方 近畿地方 中國地方 (二六)

四國地方 九州地方 朝鮮
祭の道には興行物は嚴禁 強制斷種の道 街頭の秋 女を護る公営バス嬢の抗争 街道の安全施設 國策の所在地點? 勞務時間の長短

雑報

◎理事會開催・全國交通網調査會・關西道路研究會主催大阪東京間道路調査自動車旅行・土木

官吏一覽表 (130)
叙任辭令 (141)
編輯室の内外 (141)

附錄第八回道路職員講習會講演集(三)

日本石油株式會社製



印 蝙 蛮 國 產

アスファルト
及
瀝青乳劑
販賣一手店
内外一號

取扱品目

(型錄御申越次第送呈)

- 一、特許日石瀝青乳劑
特許淺野式人孔口環
一、ユニーク
アスファルトブロック
一、アスファルト塗料各種
一、特許橋面用
アスファルトブランク
一、防水工事請負

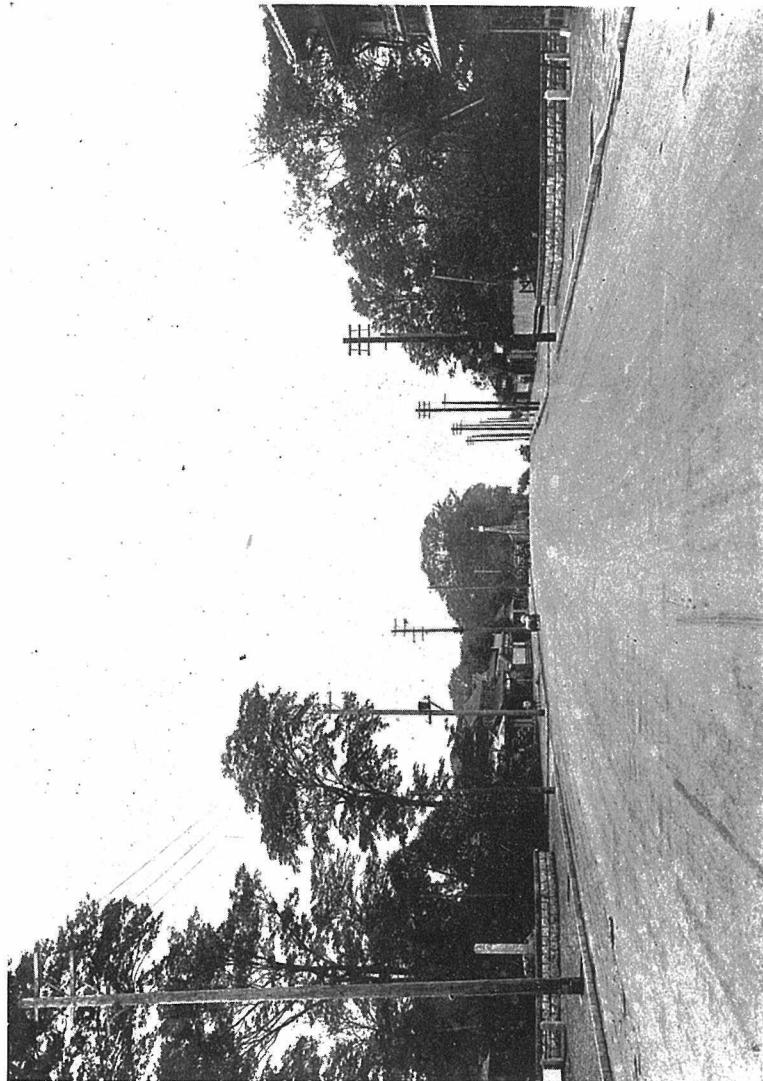


日本石油製アスファルト類内外一手販賣

淺野物産株式會社瀝青部

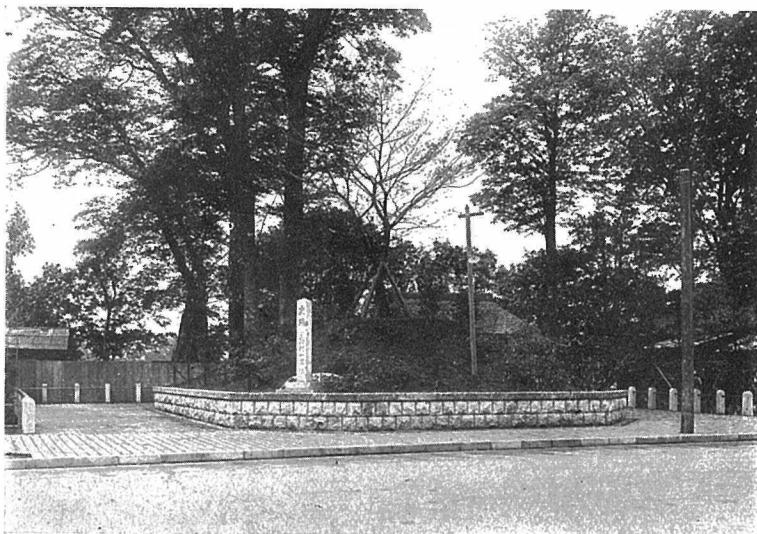
| 本 支 店 | 東京市丸ノ内一丁目六ノ一海上ビル | 電話二二五八〇・二五九九 九ノ内(23) |
|-------------|-------------------|--------------------------|
| 北海道出張所 | 札幌市南大通西三丁目十一番地 | 電話九〇九一五九 九一五九一八三三一七四四 |
| 横濱出張所 | 横濱市中區海岸通五丁目自萬國橋ビル | 電話二二二一八二二二二 |
| 名古屋出張所 | 名古屋市中區榮町三 安田信託ビル | 電話二四一六・三六八六 |
| 九州出張所 | 門司市機橋通一番地 郵船ビル三階 | 電話二三八九・二三九〇 |
| 神戸出張所 | 神戸市播磨町七番地 | 電話一九四一・二四八五 |
| 臺北出張所 | 臺北市北門町淺野セメント内 | 電話三ノ宮・九七〇 |
| 新京出張所 | 新京朝日通六十三番地 | 電話四〇八七・三二四 |
| 大連出張所 | 大連市山縣通五十八正隆ビル二階 | 電話三〇六四 |
| 奉天出張所 | 奉天加茂町拾四番地 | 電話七六一九 |
| 朝鮮出張員事務所 | 京城府古市町十九番地青木商會内 | 電話二六二八 |
| 上海出張員事務所 | 上海黃浦灘路二四〇日本物產會社内 | 電話三五六六・四五三八 |
| 哈爾賓出張員事務所 | 哈爾賓面包街二十五號 | 電話一〇四六三・一〇四六七 |
| 海外支店 | 紐育・倫敦・羅府・沙市 | 電話四七八五 |

一の其(府京東)塚里一村志道國號九

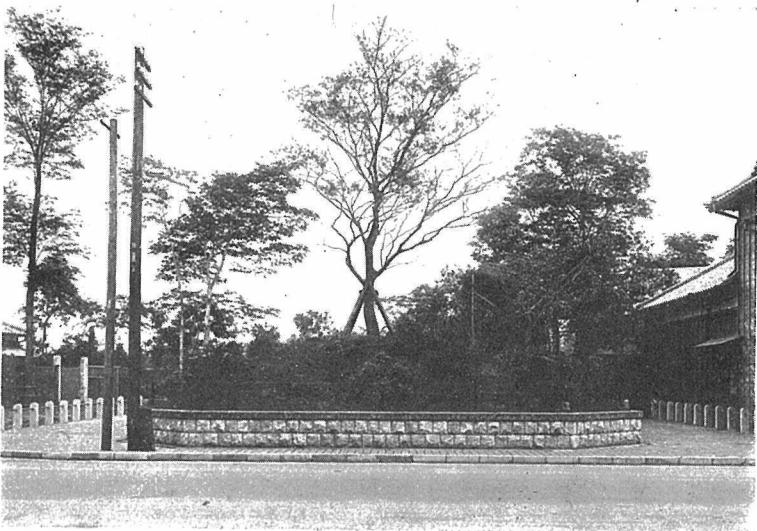


あ米一一・一三隔間の左右てしに址塚里一る當に目里三りよ標元橋本日、り在内地村志區橋板市京東は眞寫
二・四側各米六・六一車道幅路依に事工良改築直省務年内ハ和昭、るさ定指しと蹟史年三十正大
新し理整を之て置存に位置舊は塚もるたし施工施に敷五塊は道歩トーリクンコトルアフスアは道車てしと(米
(照參演譜上博田信錄附號本)りなつもるせ備完はてしと塚里一内部本でにのものもるたし新一を且面け付植を極に

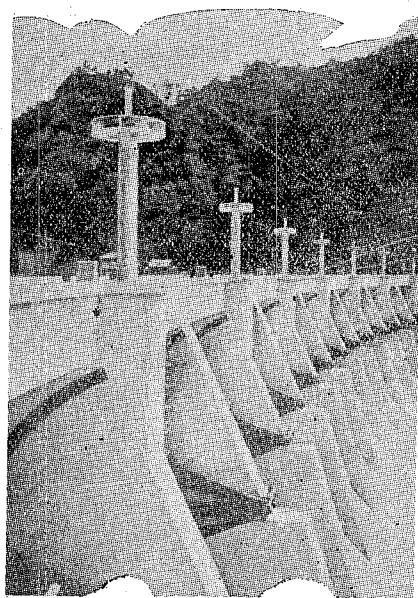
(側左の一) 二 の 其



(側右の一) 三 の 其



新製品 低熱セメント發賣 !!!



浅野マスコン・セメント
(ASANO MASCON CEMENT)

・特 色・

- (一)比重重ク、凝結遅キコト。
- (二)コンクリートノ容重重ク、密度大ナルコト。
- (三)粉末ノ表面積大ニシテ、コンクリートハプラスチック且ツウォーカブルナルコト。
- (四)發熱少ク、コンクリートノ溫度上昇少キコト。
- (五)強度發熱比高ク、且ツ強度増進率ナルコト。
- (六)空中收縮少ク、且ツ耐侵蝕性ナルコト。

・用 途・

一般ニ厚キ塊コンクリート工事 (Mass-Concrete) ニテ、容積變化又ハ不均齊應力ノ發生ヲ厭フモノ。(例、重力堰堤、砲壘、橋脚及ヒ機械基礎其他早期高強度ヲ要求セサルモノ、終局ノ硬化ノ低熱タルヲ要求スル工事)

浅野マスコン・セメント米國 Boulder dam 用
低熱セメントトノ試驗比較 (18 °C)

| 種類 | 比重 | 粉末程度 cm ² /g | 凝結 | | 水和熱 (!!)Cal/g | | 空中收縮率 mm/10mm | |
|------------------------------|------|----------------------------|-----------|------|------------------|------|------------------|--------|
| | | | 凝始 | 凝終 | 7日 | 28日 | 7日 | 28日 |
| 浅野マスコン・セメント | 3.23 | 1430 | 5:22 | 7:14 | 53.9 | 75.0 | 6.1 | 7.8 |
| 米國 低熱セメント | 3.22 | 1330 | 3:17 | 5:25 | 52.3 | 72.3 | 6.9 | 10.0 |
| モルタル強度 (kg/cm ²) | | | | | | | | |
| | | | 1日 | 2日 | 3日 | 7日 | 28日 | 7日 28日 |
| | | 水量(%) | 耐 壓 力 (G) | | C / H | | | |
| 浅野マスコン・セメント | 7.0 | 81 | 196 | 303 | 434 | 659 | 8.1 | 8.8 |
| 米國 低熱セメント | 6.5 | 94 | 164 | 226 | 345 | 487 | 6.6 | 6.7 |
| 抗張力 (T) | | | | | | | | |
| 浅野マスコン・セメント | 6.8 | 11.5 | 21.8 | 31.1 | 35.1 | 41.3 | 6.5 | 5.5 |
| 米國 低熱セメント | 6.3 | 13.0 | 18.6 | 22.5 | 27.4 | 36.4 | 5.2 | 5.0 |

浅野セメント株式會社

東京市麹町區丸ノ内一ノ六 (海上ビル新館三階)

岐阜大垣間を連結する

延長 三里半

代表的乳劑道路として

岐垣國道

エムラスに依つて

見事完成されました

が



沥青乳劑製造販賣
乳劑エムラス鋪裝
其他一般鋪裝
一般土木建築工事

エムラス道路工業株式會社

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四

(電話) 墨田(74)二六三七

出張所及分工場

旭川市、弘前市、佐賀市、久留米市、岐阜市

瀝青乳劑製造

販賣

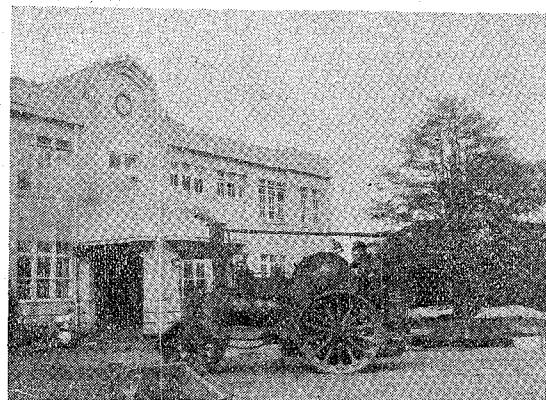
昭和工業株式會社

專務取締役 藤原惟一
鋪裝=関スル一般工事請負
本社 東京市麹町區内幸町一丁目三
大阪ビル 電話銀座(57)
5181-5189

瀝素工場 東京市芝区月見町二，四
石炭採掘場 静岡縣田方郡対島村富戸
營業所 大阪，名古屋，札幌，台北，京城
大連

國產瀝青乳劑の元祖（型錄贈呈）

鋪裝界の權威



中島飛行場其ノ一鋪裝場行

本社

東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三

電話青山（36）八一四八番四九七三番

東邦工業合資會社道路部

營業

各種鋪裝工事請負

科目

鋪裝材
瀝青乳劑
製造販賣

一般土木建築工事請負

アスカルとアスカルエキス

小倉石油株式會社
專屬販賣店

ブローンアスファルト
ストレートアスファルト
ワーターフアルト



本店 東京市麹町區丸内仲四號館 電話丸内 1654
出張所 大阪市西區土佐堀大同生命ビル 電話土佐堀 3118
4343

道路研究資料

第二輯 定價金六十錢

道路の設計工法並に計畫に就て

本篇は内務技師工學博士藤井眞透氏著作にして左の事項に就き記述せらる。

第一章 總說 • 第二章 滿洲國の道路の現狀 • 第三章 殖民地及未開地方の道路の計畫及工法 •

第四章 產業經濟の見地より見たる道路の總延長 • 第五章 道路系統の決定方法 • 第六章 路線の
形狀に就て • 第七章 路面の構造及工法に就て • 第八章 交通車輛の構造と路面の性質 • 第九章
道路改良の財源に就て • 第十章 道路と鐵道、空路との關係に就て 以上

發行所
道路改良會

産業の振興は

良い道路から

良い道路鋪装は

高野組へ

株式会社 高野組

電話丸ノ内(23)一九四八

自他共に許す高評を

エレハント・ロード・ローラー並に

株式会社 高野鐵工所

東京市麹町區丸ノ内三丁目六仲二號館四階

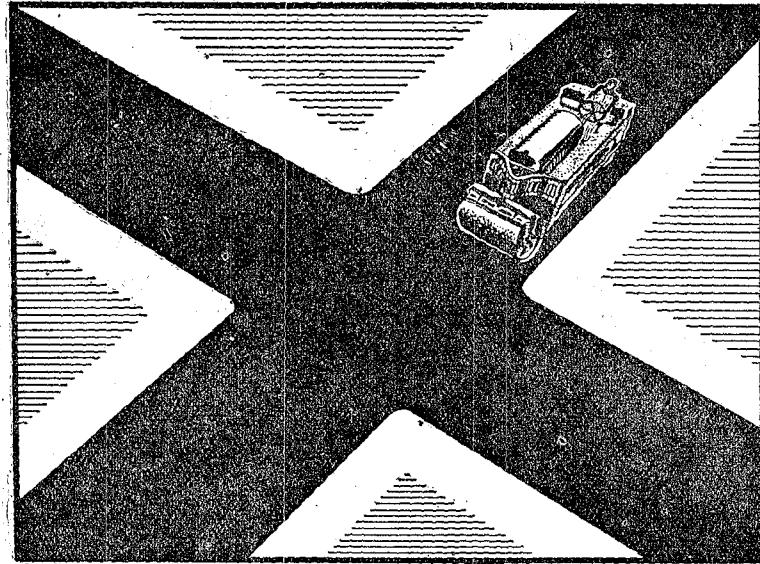
電話丸ノ内(23)一九四八番

道路用諸機械の製作販賣

工場 東京市本所區横川橋五丁目一番地

電話墨田(74)一五八四番

型錄贈呈



アフスア ルア道路装工事

瀝青乳剤オウタークターフアルアツルアフスア

小倉アフスアラクトウルアフターオウルアフスア

都而山木株式会社
道路工事

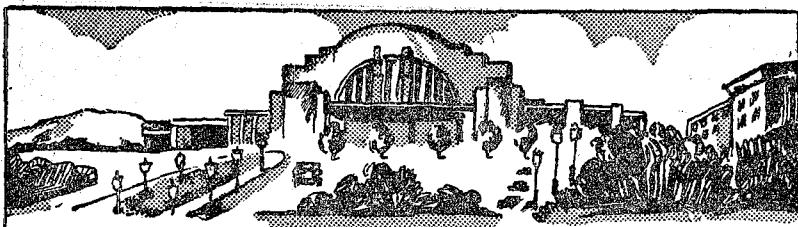
東京市橋京區橋京一丁目・電話京橋二二六八

昭和九年

道路の改良

第十六卷
第二十二號

十二月一日



言頭卷

歲將に暮れんとして餘す所、僅かに三旬、多事多難であつた過去を回顧するに實に感憾無量なるを覺ゆる、政界未だ混沌として定らず、齊藤内閣退いて政黨内閣生れず、新官僚の岡田内閣突如として組織せられ、政黨の信用未だ回復せられざるのみか却つて其勢力は寧ろ退散せるの觀がある、政黨者流は或は興黨派を爲し或は反噬の體度に出て時に朝野兩黨相近づき共同戦線を張つて官僚と一職を試みんかの如く時に政府者の施政の外また他に國策なきか如き狀を呈し政黨の存在と威力とを示さんとしては徹底する所なくして幾度かコンボリュートするかの如く思はれて其焦燥苦惱の爲體は一般國民をして政黨の無力を感ぜしむるものである。翻つて政府者を見るに其十大政綱たる官紀の肅正、國民精神の作興、國際平和の確立、國防の安全、財政の基礎確立、國民生活の安定、産業の振興、日本精神の涵養、日滿兩國の和親、行政の公平は内容空疎で抽象的で美辭麗句の羅列に過ぎないと評せられ、財政の確實は國防以外の必須的事業費を殆んど廢滅に歸せしめ兎も武力國防の爲めに増税を企圖するの意見を聲明して財界に一大センセーションをも惹起し、滿洲建國の援助の責務を盡さんとして在滿機構の變革を策して官界に一大波瀾を生ぜしめ、國民自力更生の果を獲んとすれば日印、日蘭の協商難に陥り、財政の基礎を確立せんとするも國防經費の異常なる膨脹は歳入出の均衡を失すこと甚しきを加ふるに至り而かも東北地方の冷害、北陸地方の水害、四國、九州地方の旱害及近畿中國地方の風水害等非常なる天災は頻りに臻り漸く野に飢民饑孽を視るの状あるのみならず、帝國工業の心臓部破られて其回復容易ならず、爲政上の難事は蝟集し來りて國勢の維持を危からしむるの虞あるを禁ずる能はず、然りにして軍縮問題、委任統治問題、條約廢棄問題の如き外的難案の迫り来るあり所謂内憂外患並び到るとは實に我國の現状に於て之を看取するの感がある。吾人帝國民たるものいかで晏如たることを得べき。庶幾くは國難排除の爲舉國一致して一身の艱難辛苦を問はず私見を去り公議に就き格勵奮闘以て一時の誤に依て千載の悔を遺すことなからんことを。(挑民)